

3 協働事業実施状況（平成27年度）

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
1	国際交流に係る市民の参加促進 (市民自治推進課)	<p>例年実施 (平成20年度から継続実施)</p> <p>○外国人とのふれあいを通じて国際理解を深め、草の根による国際交流を推進する。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容等】</p> <p>○国際化推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぐる～りWorld交流会（在住外国人との交流会・年2回） ・国際交流サロンを通じた各種事業（通年） <p>【参加人数、関係団体等】</p> <p>ぐる～りWorld交流会参加者（2回合計217人） サロン利用者数（年間のべ1,141人） 国際交流ボランティアの登録者数（113人） 国際交流ボランティアによる協力（H27）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア講師による外国人対象日本語教室（8回/週） ・ホームステイ受入れ（19家庭） ・通訳、翻訳の協力（1人） <p>【反響等】</p> <p>国際交流サロンの事業を始めとする国際交流事業を通じて、参加者がボランティアとして登録し協力を得ている。</p>
2	第4回とまこまい得するまちのゼミナール (まちづくり推進課)	<p>例年実施 (平成25年頃から継続実施)</p> <p>○まちゼミ事業を通し、市民にまちなかの商店街へ足を運んでいたくきっかけ作りを行うとともに、商店街関係者同士のコミュニケーションの場を創造し、商店街活性化の機運を高めることを目的とする。</p>	<p>【実施年月日、参加人数等】</p> <p>平成28年1月19日～平成28年2月29日（448人）</p> <p>【関係団体等】</p> <p>一般市民・商店街関係者・大学関係者等</p> <p>【反響等】</p> <p>参加者からは、とても楽しかったという声や、新たなお店を訪れるきっかけとなった、という声が聞かれた。</p>

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
3	災害時要援護者支援 プラン (危機管理室)	<p>例年実施 (平成19年度から継続実施)</p> <p>○大規模災害時に自力では避難が困難な要援護者からの申出により事前に自主防災組織等支援者へ情報提供し、万が一災害が生じた場合に円滑に避難できるようにするため。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、参加人数、事業内容等】</p> <p>○自主防災組織の活動等に関する説明会 平成27年5月13日(約77名)</p> <p>【関係団体等】 明野柳町内会、旭町町内会、一区町内会、糸井西町内会、糸井南町内会、有珠の沢町内会、植苗町内会連合会、大町寿町内会、音羽町町内会、春日清水町内会、柏木町町内会、川沿町内会、錦糸町内会、光洋町町内会、幸町町内会、桜坂町町内会、しらからば東町内会、新中野町町内会、新開明野元町町内会、新明町町内会、すずらん町内会、スプリングタウン町内会、澄川町町内会、澄川西町内会、住吉泉町内会、青雲町内会、大成町公住町内会、高丘泉町内会、樽前町内会、東開町内会、ときわ町内会、西町親交会、日新草笛町内会、日新町町内会、沼ノ端東雲町内会、拓勇西町内会、拓勇東町内会、沼ノ端北栄町内会、のぞみ町内会、花園町内会、日の出三光町内会、日吉町町内会、美光町内会、船見町港北町内会、北光町町内会、美原町内会、宮の森町内会、見山西町内会、見山町東町内会、もえぎ町町内会、元中野町町内会、山手町内会、山手北光町内会、若草団地町内会 合計54町内会参加</p> <p>【その他】 災害対策基本法の改正を受け、既存の「災害時要援護者支援プラン」から平成28年度は、「避難行動要支援者支援制度」に切り替え。</p>
4	平成27年度樽前山 火山噴火総合防災訓 練 (危機管理室)	<p>2年に一度実施</p> <p>○関係機関が災害への対応方法を検証し、課題等の認識を共有することで、関係機関の連携を深め、迅速・的確な対応体制の整備を図る。</p>	<p>【実施年月日、参加人数】 平成27年 7月27日 約12人(住民説明会) 平成27年 8月21日 約100人(実動訓練)</p> <p>【関係団体等】 うぐいす団地町内会、錦西町内会、すずらん町内会、スプリングタウン町内会、青雲町内会、南錦岡町内会、明徳町1丁目町内会、もえぎ町町内会、宮前町町内会、明徳町4丁目町内会</p> <p>【反響等】 実動訓練を行ったことで避難時の課題や問題点が明確化し、再度、災害について考える機会となった。</p>

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
5	「消費者月間」街頭啓発 (安全安心生活課)	例年実施 ○市と消費者団体、婦人団体との協働により、消費者被害防止の情報提供と市消費者センターの活用について街頭啓発。	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成27年5月13日 啓発リーフレット1,000部配布</p> <p>【参加人数、関係団体等】 参加者10人 苫小牧消費者協会 外4団体の協力</p> <p>【反響等】 啓発リーフレットと絆創膏、ポケットティッシュを1,000部配布し、消費者被害防止に対する意識向上が図られた。</p>
6	みんなの消費生活展 (安全安心生活課)	例年実施 (昭和54年頃から継続実施) ○消費者団体、市民団体等の出展により、暮らしに役立つ知識や情報を提供し、消費者意識の高揚を図る。	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成27年11月21日・22日</p> <p>【参加人数、関係団体等】 参加者約100人 苫小牧消費者協会 外18団体 ・ステージ参加を含む民間出展9団体 約60人 ・消費生活展併設の「福祉・消費者ふれあい市場」出店9福祉団体 約40人</p> <p>【反響等】 2日間で533人の来場者。出展した消費者団体等の取組を通じて、消費者意識の高揚が図られた。</p>
7	苫小牧市資源リサイクル団体連絡協議会 (減量対策課)	例年実施 (平成5年5月から継続実施) ○ごみの減量化及び資源の有効活用を目的に、市民と市の協働により集団回収が全市的な運動として促進することで、循環型社会の構築とまちづくりの推進を図る。	<p>【実施事業、実施年月日、参加人数、事業内容等】 ○資源回収登録団体244団体（平成28年3月末現在）活動内容調査による状況把握 ○ホームページ、広報等による資源回収団体への情報提供 ○資源リサイクル団体連絡協議会総会、役員会開催による情報交換、連携強化（総会：7月16日、55名52団体、役員会7月10日） ○リサイクル施設の視察研修（11月11日） 研修先 リサイクルプラザ苫小牧、明円工業株式会社環境資源部苫小牧工場（参加者21団体31名） ○リサイクルハウス設置助成による支援（5団体） ・苫小牧市リサイクルハウス設置事業助成交付金要綱－H19年11月1日施行 ○資源回収団体奨励金制度による支援（前期分190団体） ・苫小牧市資源回収団体奨励金交付要綱－H20年4月1日施行</p> <p>【関係団体等】 町内会、老人クラブ、学校・PTA、同好会、各種団体等</p> <p>【反響等】 市民と市民団体と市の連携により、資源回収登録団体数・回収実績も向上しており、ごみの減量化及び資源の有効活用が図られ、循環型社会の構築、まちづくりの推進につながっている。</p>

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
8	苦小牧市エコストア 認定制度 (減量対策課)	<p>例年実施 (平成20年頃から継続実施)</p> <p>○環境に配慮している店舗をエコストアに認定し、広く市民に情報提供することにより、市民と店舗と市が連携してごみの減量化やリサイクル活動に取り組み、循環型社会の構築に向け、環境にやさしいライフスタイルを確立することで、まちづくりの推進を図る。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容等】</p> <p>○エコストア認定店舗に対し、認定書及びプレートを交付、提示してもらうことで啓発を図る。 ○ホームページ等による市民への情報提供</p> <p>【参加人数、関係団体等】 (エコストア認定登録28店舗名) イオン北海道(株)苦小牧店、ホームワークKOYO、マックスバリュ有珠川、ホクレンショップ沼ノ端店、マックスバリュ澄川町店、ホクレンショップ苦小牧店、ヘリテージキムラ、コープさっぽろステイ店、コープさっぽろ桜木店、コープさっぽろパセオ川沿店、コープさっぽろ栄町店、大師堂佛壇店、(有)ななかまど、マックスバリュ新花園店、マックスバリュ支笏湖通り店、手づくりとお菓子「自家焼」があがぁん、(株)豊月フードD沼ノ端食彩館、(株)豊月フードD OASIS、(株)豊月フードD双葉食彩館、(株)豊月フードD見山食彩館、(株)メガススポーツスポーツオーソリティー苦小牧店、ビッグハウス明德店、炭火・自家焙煎珈琲「えちおび屋」、ビッグハウス光洋店、ビッグハウス明野店、コープさっぽろときわ店、フードD Vian、ホクレンショップFoodFarm苦小牧しらかば店</p> <p>【反響等】 市民と店舗と市の連携によるリサイクル意識の向上及び環境負荷への低減等が図られ、循環型社会の構築、まちづくりの推進につながっている。</p>
9	レジ袋削減に向けた 取組 (減量対策課)	<p>例年実施 (平成20年頃から継続実施)</p> <p>○レジ袋削減に関する自主協定を締結し、三者一体となってレジ袋削減に向けた取組(レジ袋無料配布中止、マイバッグ持参運動等)を行うことで、ごみの減量化、限りある資源の有効活用やCO2発生抑制による環境負荷軽減・地球温暖化防止に向け、環境にやさしいライフスタイルを確立し、まちづくりの推進を図る。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、参加人数、事業内容等】</p> <p>○事業者に対するレジ袋削減率等活動内容調査による現況把握 ・平成26年度実績(※27年実績は集計中) レジ通過客数 13,933,422人 レジ袋販売者数 12,230,074人 レジ袋辞退率 87.8% レジ袋削減枚数 12,606,970枚(重量約126t)</p> <p>○ノーレジ・マイバッグ持参運動の推進 ・ホームページ等による市民へのレジ袋削減の呼びかけや各店舗の取組などの情報提供、啓発用のぼり配布等活動支援、各種イベントでのレジ袋削減、マイバッグ持参運動PRキャンペーン実施</p> <p>【関係団体等】 (レジ袋削減に関する自主協定を締結) ・苦小牧消費者協会 ・協定締結事業者(8事業者27店舗 平成28年3月現在) イオン北海道株式会社、生活協同組合コープさっぽろ、株式会社豊月、株式会社ホクレン商事、マックスバリュ北海道株式会社、株式会社メガススポーツ、株式会社ラルズ、トライアルカンパニー</p> <p>【反響等】 市民と事業者と市の連携によりレジ袋有料化以降マイバッグ持参率も高い率で推移しており、ごみの減量・リサイクル推進及び環境負荷への低減等が図られ、循環型社会の構築、まちづくりの推進につながっている。</p>

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
10	「053 (ゼロごみ) の日」 (春・秋) (清掃事業課)	<p>例年実施 (昭和62年頃から継続実施)</p> <p>○清潔で住みよい町づくりのため自主的に清掃を行い、環境美化と清掃意識の高揚を目的とし、昭和62年度より「まちをきれいにする日」として実施。 春と秋の年に2回実施し、平成24年度より「053 (ゼロごみ) の日」と名称を改め、継続している。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成27年 4月19日～ 5月18日 約21,303人 平成27年10月 1日～10月31日 約17,890人</p> <p>【参加人数、関係団体等】 町内会、自治会 (春14,160人、秋13,230人)、事業所 (春2,026人、秋1,687人)、学校 (春3,354人、秋2,588人)、子供・老人クラブ等その他の参加団体 (春1,763人、秋385人)</p> <p>【反響等】 町ぐるみで清掃を行うことで、市民の環境美化意識が高まった。</p>
11	苫小牧市環境美化活動事業 (清掃事業課)	<p>新規実施</p> <p>○苫小牧市内の環境美化を目的とし、市と町内会又は自治会が協働して行う。</p>	<p>【実施事業、事業内容等】 (1) 地域の大掃除 (2) 不法投棄又は不適正排出のパトロール (3) 文書の配布又は看板の設置等による啓発 (4) 折りたたみ式ごみステーション設置の取りまとめ (5) ごみステーション周辺の清掃又は花壇の設置等による環境整備 (6) 団体間における環境美化に係る意見交換又は協議</p> <p>【関係団体等】 81町内会・自治会 (町内会・自治会の役員及び地域住民)</p> <p>【実施年月日、参加人数等】 平成27年4月1日～平成28年3月31日 約42,500人</p> <p>【反響等】 環境美化の取組を行うことにより、環境美化の意識が高まった。</p>
12	苫小牧市環境基本計画推進会議による実施事業 (環境保全課)	<p>例年実施 (平成16年頃から継続実施)</p> <p>○環境基本計画を推進するために、市民、事業者及び団体、市の三者で構成し、市民の環境意識を高めるために、地球温暖化対策や自然環境保全などの事業の実施に向けて企画及び行動を行う。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容、参加人数等】</p> <p>○せせらぎスクール (平成27年7月30日 児童35名 (保護者20名)) 川の水生生物の採取、及び水質の状況を調査することにより、環境との関わり方を学んだ。</p> <p>○苫小牧の自然を守り隊!! (平成27年8月4日 24人) 森林を育てるために人の手を入れることの必要性を説明し、作業体験や森林散策を行い、森と人との関わり方を学んだ。</p> <p>○メガソーラー発電所及びエコ企業見学会 (平成27年10月28日 31人) メガソーラーを保有する事業所等を見学し、環境負荷低減の在り方を考える機会となった。</p> <p>○エコ・クッキング教室 (平成28年2月25日 植苗小中学校 生徒6人、教科担当1人) 発泡スチロールを活用し余熱を利用した調理法や、産廃となる「おから」を有効利用した料理を作り、環境に優しい省エネ料理法を学ぶ。</p>

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
13	リーダー養成事業 (青少年課)	例年実施 ○さまざまな体験活動から積極的に社会参加するたくましい青少年を育成する目的でリーダー養成事業を行っているが、本事業は苫小牧市子ども会育成連絡協議会の後援事業でもあり苫子連主催の各種事業もリーダー養成認定事業であることから、各種事業に参加することでポイントが得られ、リーダー認定を行う制度を協働で行っている。	【実施事業、実施年月日、事業内容、参加人数等】 子ども会交流会 平成27年 6月27～28日 41人 子ども会スポーツ交流会 平成27年 9月26日 39人 子ども会カルタ大会 平成27年11月15日 20人 子ども芸術祭 平成28年 2月20～21日 161人 【関係団体等】 苫小牧市子ども会育成連絡協議会 【反響等】 子ども達の育成について、市が単独で事業を実施するより協働して計画及び実施することで子ども達に多くの学習機会の提供をすることができ、また、多様な意見を聴取することで更なる事業の発展に繋がっていると考えている。
14	トマコマイククリーンアップ・サポーター制度による管理 (緑地公園課)	例年実施 (平成14年頃から継続実施) ○住民等のボランティアにより道路や公園等の公共施設の清掃活動を行うことで、清潔で美しい街をつくる為。	【実施事業、実施年月日、事業内容、参加人数等】 平成27年度 登録団体数 (34団体・3個人) 登録者数 1,807人 (うちパークゴルフ場維持管理を中心とした団体 13団体) 【関係団体等】 同上 【反響等】 地域内の道路や公園がきれいに保たれている。また、パークゴルフ場は、芝刈り等の作業をして頂いていることから、多くの利用者に喜ばれている。
15	錦大沼公園内の錦大沼ハナショウブ園の維持管理 (緑地公園課)	例年実施 (平成22年頃から継続実施) ○錦大沼公園内の錦大沼ハナショウブ園において、はなしょうぶの会の会員と市職員と共に、草取りなどのハナショウブの維持管理作業を行い、経費削減と共にハナショウブ園の持続的な維持管理を行うことを目的としている。	【実施事業、実施年月日、事業内容、参加人数等】 各年 平成27年7月8日 約34人 【関係団体等】 はなしょうぶの会 (苫小牧ヤクルト販売(株) ・(有)アートスタジオNON ・マルゼン食品(株)) ((株)苫小牧中野自動車学校 ・北光印刷(株) ・(株)華紋) (公益社団法人苫小牧地方法人会) 一般社団法人苫小牧観光協会、苫小牧ロータリークラブ 【反響等】 ハナショウブ園の維持費削減と、市民団体との協働作業によるPR。

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等																		
16	苦小牧市成人式の企画立案 (生涯学習課)	<p>例年実施</p> <p>○成人式の式典の企画立案や成人式当日の運営に参画することで、主体的に行動する苦小牧市民としての自覚を深め、今後の積極的な生涯学習活動への参加を促す。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容等】</p> <p>○成人式実行委員会</p> <table border="0"> <tr> <td>第1回</td> <td>平成27年 9月 9日</td> <td>第4回</td> <td>平成27年10月21日</td> <td>第7回</td> <td>平成27年12月 4日</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>平成27年 9月25日</td> <td>第5回</td> <td>平成27年11月 2日</td> <td>第8回</td> <td>平成27年12月21日</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>平成27年10月 7日</td> <td>第6回</td> <td>平成27年11月18日</td> <td>第9回</td> <td>平成28年 1月 5日</td> </tr> </table> <p>○リハーサル 平成28年 1月9日</p> <p>○式典 平成28年1月10日</p> <p>【参加人数】 8人(延べ 73人)</p> <p>【反響等】 活動を通じて、これからの地域を担う主体としての自覚を深めるとともに、地域で活動する団体や市に対する理解・信頼を深めた。 ※ 平成28年苦小牧市成人式 出席者 1,210人(対象者 1,519人) 出席率 79.7%</p>	第1回	平成27年 9月 9日	第4回	平成27年10月21日	第7回	平成27年12月 4日	第2回	平成27年 9月25日	第5回	平成27年11月 2日	第8回	平成27年12月21日	第3回	平成27年10月 7日	第6回	平成27年11月18日	第9回	平成28年 1月 5日
第1回	平成27年 9月 9日	第4回	平成27年10月21日	第7回	平成27年12月 4日																
第2回	平成27年 9月25日	第5回	平成27年11月 2日	第8回	平成27年12月21日																
第3回	平成27年10月 7日	第6回	平成27年11月18日	第9回	平成28年 1月 5日																
17	障がい者IT学習支援事業 (生涯学習課)	<p>例年実施 (平成19年から継続実施)</p> <p>○行政とボランティア団体がパートナーシップ協定を結び、まちづくりに関する地域の目標や課題を共有し、相互の役割分担を明確にしながら、対等の関係で協力し合い、本市の生涯学習を推進する。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容、参加人数等】</p> <p>○肢体障がい者パソコン教室 平成27年5月8日～平成28年1月22日 第2・4金曜日(計15回) 受講74人 ボランティア114人</p> <p>○視覚障がい者パソコン教室 平成27年5月20日～平成28年2月3日 第1・3水曜日(計15回) 受講82人 ボランティア96人</p> <p>【関係団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者パソコンボランティア友の会 ・身体障害者福祉連合会(視覚障害者協会・肢体障害者協会) ・パソコン教室受講者 <p>【反響等】 協働の過程を通じて、ボランティア団体の構成員である市民が地域の主体としての自覚を深め、市民相互又は市民及び市における理解と信頼が深まることができた。</p>																		

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
18	朗読とギターの夕べ (中央図書館)	例年実施 (平成23年から継続実施) ○市内朗読サークルの協力を得ることで、図書館単体では提供できない芸術・文化鑑賞機会を提供すると共に団体に対しては活動の発表機会を提供するもの。	【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成27年7月25日 【参加人数、関係団体等】 参加者約120人 ・朗読サークル びーどろ 【反響等】 成人を対象とした文学作品の朗読事業として好評を頂いた。市民に対して文化鑑賞の機会を提供するという面で大きな効果があった。反響を受けて、図書館主催での成人向けよみがたり事業を新たに実施した。
19	本のぼくりっこ市 (中央図書館)	例年実施 (平成22年から継続実施) ○図書館と図書館ボランティアグループ等が協力し、図書館に寄せられた本と市民の持ち寄る本を交換することで、本の再利用と図書館の利用促進を図る。	【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成27年7月26日 【参加人数、関係団体等】 ボランティア 19人 参加者 121人 ・図書館ボランティアグループ 【反響等】 図書館とボランティアグループが協力して実施することで、ボランティア間の親交を深める場にもなっている。交換参加の市民からも好評を得ており、図書館と市民の交流に役立っている。
20	子ども俳句教室 (中央図書館)	単年度(新規)実施 ○児童を対象として俳句を作る楽しさを体験してもらおう。俳句・文学に触れてもらうことで、読書活動へ関心を持ってもらうことを目的とする。	【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成27年7月26日 【参加人数、関係団体等】 参加者6人 ・苫小牧俳句協会 【反響等】 参加児童からは好評をもらえたが、周知不足により参加者数が伸び悩んだ。協同団体からは参加者への対応での手ごたえと、児童へ俳句の存在を周知できた点を成果と感ずるという声を頂いた。

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
21	青空こどもとしゃか ん (中央図書館)	例年実施 (昭和62年ころから継続実施) ○図書館と図書館の読み聞かせボランティアグループが協力し、通常館内で行われる読み聞かせを屋外で楽しんでもらう取り組み。	【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成27年8月1日 【参加人数、関係団体等】 参加者約60人 ・にじのはし、苫小牧子どもの本の会、紙芝居おじさん 【反響等】 図書館と図書館ボランティア読み聞かせグループが協力して実施することで、日常の図書館活動における関係づくりの一助となっている。参加者からも野外イベントとして好評を受けている。
22	朗読研修会 (中央図書館)	例年実施 (平成26年頃から継続実施) ○図書館の対面朗読サービスに協力いただいているボランティア団体に対し、研修機会を提供することで、サービスの質的向上を図り、ひいては市民サービスの向上を目指すもの。	【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成27年9月11日 【参加人数、関係団体等】 参加者14人 ・苫小牧市朗読赤十字奉仕団 【反響等】 講師からの技術指導を受けることで、参加者のモチベーションの向上、朗読サービス利用者へのサービス向上につながった。
23	くすのきしげのり講 演会 (中央図書館)	単年度(新規)実施 ○共催団体と図書館で講師を招聘し、団体員に活動への学習機会を、市民には著名な絵本作家からの講話による読書活動の促進を図るもの。	【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成27年9月13日 【参加人数、関係団体等】 参加者約90人 ・苫小牧読み聞かせ文庫活動連絡会 【反響等】 共催団体会員による周知効果により、広く市民に事業を周知・参加してもらうことが出来た。また、共催団体員に活動での有益な知識を習得してもらえた。

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
24	お話し玉手箱 (中央図書館)	単年度(新規)実施 ○図書館で活動する団体に活動発表の場を設定し、図書館利用者に対して朗読・読み語り活動という文化活動に触れるきっかけとなる事を目的とする。	【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成27年10月29日 【参加人数、関係団体等】 参加者約60人 ・朗読サークル びーどろ、絵本の森、でんでんむしサークル、子どもの本の会、おはなしオルゴール、朗読サークル花音、にじのはし 【反響等】 児童向けではない、成人を対象とした文学作品の朗読事業として好評を頂いた。発表団体からも充実した事業だったとの反響を得た。成人向けよみがたりについては継続的に事業として取り組んでいく。
25	子ども年賀状教室@ library (中央図書館)	単年度(新規)実施 ○児童を対象としてTOSSと図書館共同で事業を行い、児童が図書館利用・読書活動へのきっかけとなることを目的として実施。	【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成27年12月12日 【参加人数、関係団体等】 参加者 23人 ・TOSS北海道苫小牧支部 【反響等】 図書館には教職員のを教える技術を学ぶ機会となった。参加者からは物づくりの達成感についての反響が多く挙がった。制作作品を図書館で展示したため図書館へ足を運ぶきっかけとしても機能した。

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
26	定例お話し会 おはなし広場 (中央図書館)	例年実施 (平成元年から継続実施) ○図書館ボランティア読み聞かせグループ等の協力を得て、子どもたちの読書活動の推進を図る。	【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成27年4月～平成28年3月まで 【参加人数、関係団体等】 ボランティア 228人 イベント参加者 1,123人 ・図書館ボランティア読み聞かせグループ等 【反響等】 図書館と図書館ボランティア読み聞かせグループ等が協力して実施。参加している市民からは、図書館を訪れるきっかけになると好評を得て継続している。
27	苫小牧市美術博物館 ボランティア運営登録事業 (美術博物館)	例年実施 (平成25年6月から継続実施) ○美術や博物事業に関する見識や熱意を有する方々の協力を得て、市民と協働した美術博物館活動を組織的に推進し、館事業の円滑な運営を図るため、ボランティア登録制度を導入し、活動を行うために必要な支援を行う。	【実施事業、実施年月日、事業内容、参加人数等】 平成27年4月12日～平成28年3月31日(登録者 36名) ○各企画展の受付・案内・監視業務 1人あたり約10回の活動実績 ○ボランティアのための研修会 9回の開催(延133名参加) 【反響等】 各展覧会において、受付・案内・監視業務をしていただいたことで、職員の業務負担が軽減され、別の業務を行うことができた。監視業務においては、気づいたことや観覧者からのご意見など学芸員に伝えていただき、細やかな対応をすることができた。また、年9回の研修会を通して、当館の事業に対する理解を得られたと同時に展覧会前の展示解説等は好評を得ている。